

### (3) 越智今治ブロック (今治市、上島町)

#### ～産地づくり～

西日本豪雨災害からの復興とさらなる発展のため、かんきつ類などの果樹のブランド産地を目指し、県オリジナル品種や既存の主力品種を最大限に活かせる栽培技術の確立を強力に推進するとともに、生産技術の高位平準化にも取り組みます。また、県オリジナル品種等の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されている「オリーブ」や「醸造用ぶどう」など、生産者の所得確保・向上につながる品種・品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

#### ～推進品目や産地づくりの方向～

##### ○マルドリ栽培によるブランド果実生産とかんきつ産地の振興

###### 【取組】

- ①「愛媛果試第28号(紅まどonna)」「はれひめ」の品質向上を図るマルドリ栽培の普及
- ②愛媛果試第28号マルドリ糖度向上モデル園の設置
- ③ブランド果率を高める愛媛果試第28号マルドリ重点指導の実施
- ④「愛媛Queenスプラッシュ(甘平)」の出荷量を高める栽培技術を実証するモデル園の設置
- ⑤低コストでブランド果率を高めるモデル簡易ハウスの設置

###### 【成果】

- ①「愛媛果試第28号(紅まどonna)」「はれひめ」のマルドリ栽培導入面積：累計7.9ha(前年産比100%)
- ②糖度向上モデル園品質実績：階級2L以上 68%  
糖度10.5度以上 68.7%  
酸度1.2%未満 91.7%
- ③水田転換園、新規栽培者など多様な栽培条件への重点指導：7件
- ④・「甘平」裂果軽減対策技術実証ほの設置：5か所  
・「愛媛Queenスプラッシュ」の出荷率：1.0%(前年産0.8%)
- ⑤低コスト簡易モデルハウス園の設置：2か所



愛媛果試第28号  
モデル園での指導



甘平裂果対策の  
実証ほ設置

##### ○しまなみ産「レモン」の周年供給によるブランドカアツプ

###### 【取組】

- ①レモンの夏季出荷(7~9月)技術の確立実証
- ②レモン栽培の新規施設化の推進
- ③夏季レモン生産の取り組み推進と施設栽培の安定生産技術の指導
- ④レモンの品質向上と安定生産技術指導の強化
- ⑤早期成園化のための技術指導

###### 【成果】

- ①栽培技術実証ほの設置：3か所  
・冬季保温、着果負担軽減、整枝管理等により夏季レモンを2.0t出荷(前年産比69%)  
・調査データを活用した夏季レモン栽培マニュアルの作成
- ②認定農業者等への施設化要望調査を実施  
・上島町で増設：2人、次年度新規施設化：2人  
・大三島で新規施設化：1人
- ③実証ほを活用した栽培技術研修会の開催：2回
- ④地区別柑橘栽培講習会での安定生産技術指導：7回  
・レモンの栽培面積：71ha(前年産比101%)、  
販売金額1.5億円(前年産比100%)
- ⑤・早期成園化に向けた実証ほの設置：3か所  
・講習会や個別巡回指導による早期成園化に向けた技術指導：12回  
・早期成園化管理マニュアルの作成



実証ほでの栽培講習会



2月の  
開花状況

グリーン  
の  
夏季レモン

## ○地産地消の推進に向けたエコ栽培農産物や花きの栽培力アップ

### 【取組】

- ①地産地消の推進
- ②小麦の栽培面積維持と需要開拓
- ③エコ栽培農産物生産の取組推進
- ④地元市場等に出荷している花き生産者の栽培技術指導

### 【成果】

- ①・地元高校生を対象に、収穫・加工体験会を開催
  - ・地元短大生を対象に、地元農産物（甘長とうがらし、小麦、醸造用ぶどう、レモン）の学習及びレシピ開発を目指した試作の実施
- ②・令和5年産小麦：栽培面積47ha（前年産比100%）
  - ・小麦生産者を対象に、生産・流通及び地産地消の取組について、勉強会を開催：1回
  - ・消費者対象の意向調査を、さいさいきて屋、JA今治立花くみあいマーケットにおいて実施（購入層や今後の活動に対する要望などを確認）
- ③エコえひめ認証制度に基づく生産登録数：36件（前年43件）
- ④・球根品目へのLED電照の導入
  - ・キクの新規栽培者を1人確保



媛かぐやの加工体験会  
（高校生）



地域産物に関する  
学習会（短大生）

## ○地域振興野菜・花きの生産推進による農家所得の向上と産地振興

### 【取組】

- ①さといもの省力生産体系の推進による栽培面積の拡大
- ②甘長とうがらしの生産振興とブランド化の推進
- ③花き花木の周年供給産地の育成

### 【成果】

- ①・規模別機械化体系モデルを作成
  - ・新規栽培希望者向けの説明会を開催：1回
  - ・栽培面積：40ha（前年産比121%）
- ②・省力化のため、日射制御型拍動自動灌水装置の実証：2か所
  - ・新規病害対策のため、初発調査の実施：2回
  - ・栽培者40人（前年比2人増）、栽培面積1.7ha（前年並み）
- ③・栽培技術向上のため、剪定講習会を開催：5回
  - ・栽培者129人（前年比8人増）、栽培面積8.2ha（前年比0.3ha増）



さといも新規栽培  
希望者説明会



甘長とうがらし  
環境制御技術の指導

## ○「オリーブ」と「醸造用ぶどう」の新たな産地の育成

### 【取組】

- ①実証ほ設置等による生産技術の確立
- ②産地見学ツアー等による新規生産者の掘り起こし
- ③研修会開催や個別指導による生産者の技術力向上支援
- ④県外飲食店の訪問等による販路開拓
- ⑤地元観光協会等とのタイアップによる農産加工品のPR販売

### 【成果】

- ①実証結果を基にした醸造用ぶどうの栽培マニュアルを作成
- ②新規生産者の確保・育成：オリーブ3人、醸造用ぶどう1人
- ③・現地研修会の開催：3回、実証ほの設置：5か所
  - ・オリーブは、裏年であったものの、3t（前年並み）の収量を確保、また、品質の向上による売上金額の増加（前年産比120%）
  - ・醸造用ぶどうは、防除などの適正管理徹底により、収量が9.4tに増加（前年産比142%）
- ④関西の飲食店4件で新規取引を開始
- ⑤「せとうちみなとマルシェ」において、共同ブースを設置し、県内外の観光客にPR販売を開始



産地見学ツアー



マルシェ共同出展ブース



## ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者や農業参入企業等に対し、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、グリーン・ツーリズムによる起業活動等を支援するとともに、女性の農業経営への参画を促進し、女性農業指導士とともに優れた女性経営者を育成します。さらに、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策など、地域を取り巻く課題に対応した支援を強力に展開します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○意欲ある就農者のスキルアップによる担い手育成

#### 【取組】

- ①就農フェアや就農相談会での相談対応
- ②新規就農者に早期に安定経営を図るための支援
- ③新規就農者と生産者の交流会開催
- ④就農啓発講座と農業の魅力発信活動の開催
- ⑤青年農業者と女性農業者のスキルアップを目的とした講習会等実施

#### 【成果】

- ①・オンライン就農相談等に参加して50件の相談に対応
  - ・相談等により、農業次世代人材投資事業(就農準備資金)を活用し農業研修を3人が開始(うち1人が県農業研修施設である今治支局地域農業育成室岩城駐在で研修)
- ②早期経営の安定が必要な新規就農者に対して、重点的に個別指導を月平均13.4回(年間延べ121回)実施
- ③1ターン等で就農した新規就農者が経営概要や課題等を発表し、意見交換を行う交流研修会を開催(参加農家91人)
- ④地元高校生と協力して、地元メディアを通じた農業の魅力発信活動を実施:3回
- ⑤・法人化支援に向けて、11経営体に個別面談等を行った結果、2経営体が法人を設立
  - ・青年農業者にかんきつ類省力栽培研修、女性農業者に農作業安全講習会等を開催:10回(91人)



新規農業者指導



交流研修会  
(意見発表する新規就農者)

### ○水田を活用したスマート農業の実現

#### 【取組】

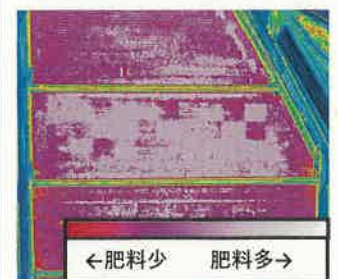
- ①ドローンを活用した防除作業の省力化技術の普及
- ②営農データの「見える化」や生産性向上に向けて営農管理システム等の導入推進
- ③新たなスマート農業技術実証をスタート

#### 【成果】

- ①ドローンを活用した防除
  - ・水稲への普及面積100.0ha(前年対比145%)に拡大
- ②営農管理システム
  - ・電子化された、ほ場地図と作業記録及び収穫量等をクラウドで一括管理し、複数ほ場の最適な営農計画を策定する営農管理システムの導入:2集落営農組織
  - ・うち営農管理システムと繋がるコンバインから得られる食味・収穫量のデータを活用し、次作の栽培管理を改善する取組みを開始:1集落営農組織
- ③新たなスマート農業技術
  - ・水田水管理の省力化に向け、IOTによりスマートフォンで操作できる給水機により最適な水管理を行う実証ほを設置:1か所
  - ・農林水産研究所と連携し、生育期間中の「ひめの凜」の葉色をドローンでリモートセンシングし、収穫後の玄米タンパク含有率を予測する技術実証ほを設置:7か所



IOT水管理システム



リモートセンシングによる葉色診断

## ○地域に根差した滞在型グリーン・ツーリズムの推進

### 【取組】

- ①新たな農泊会員及び体験メニュー（SDGs含む）の掘り起こし
- ②地域内の団体（愛媛DMO、(株)しまなみ、宿泊先等）との連携
- ③コロナ禍における教育旅行の受入拡大
- ④しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会の自立化促進

### 【成果】

- ①・新たに農泊を開始：3戸（うちターン農家2戸）
  - ・新たに4メニューの体験を追加「イノシシ丸焼きサンドづくり」、「レジン体験」及び「みかん狩り（新規就農者2戸）」
  - ・SDGsに対応した体験メニュー作りを支援（塩生キャラメルほか2体験）
- ②アフターコロナのインバウンド客誘致に向け、国内外の旅行代理店を招聘したモニターツアーを実施：9回（レモン懐石など）
- ③・体験メニュー提供農家等を対象に、感染防止対策の再点検と徹底を指導
  - ・小回りの利くタクシーの機動性を生かし、少人数で島内を巡りグリーン・ツーリズム体験等を楽しめる7コースを用意
  - ・活動に賛同する地域住民や移住者も巻き込んだ受入体制を構築し、来訪校増加に対応
  - ・教育旅行の受入実績：45校（前年比250%）
- ④・協議会運営等を学ぶため、「そらの郷(徳島県)」を視察（11人）
  - ・令和5年1月より今治市の協力のもと、当協議会専任の「地域おこし協力隊」1人を確保し、運営体制を強化



イノシシ丸焼きサンド



ロサンゼルスから  
来日したモニター  
体験ツアー  
(レモン懐石)

## ○実践集団の育成と捕獲技術の向上による鳥獣被害対策の支援

### 【取組】

- ①加害鳥獣対策の実証及び普及
- ②関係機関、取組集落間のネットワークづくり
- ③鳥獣害を受けにくい集落づくり支援
- ④地域間連携による面的拡大活動支援

### 【成果】

- ①・クラウド型センサーカメラ利用による加害獣の遠隔監視を実施
  - ・サル用大型捕獲檻の導入による集落ぐるみの捕獲活動開始
  - ・設置移動が容易な簡易電気柵によるイノシシ等加害獣の侵入防止効果の実証：2か所
- ②・関係者間情報共有のため、今治地域鳥獣害防止対策協議会を開催：2回
  - ・玉川町、朝倉の取組集落間でのサル出没状況、捕獲状況の情報共有により、サルの複数頭捕獲に成功
- ③・集落ぐるみの鳥獣害対策推進に向け、新規モデル集落2集落を掘起し、対象住民の意向を把握。うち1集落で防鳥ネット導入計画作成
  - ・集落ぐるみの地域体制づくりの醸成に向け、集落点検活動を実施：3集落
  - ・えひめ地域鳥獣管理専門員と連携し、効果的な侵入防止対策を指導
  - ・新たに2人のえひめ地域鳥獣管理専門員を確保
- ④出没地域が拡大しつつあるサル対策を中心に、広域で情報共有を図る東予地域えひめ地域鳥獣管理専門員連絡会を開催：3回



集落点検で侵入防護  
柵設置状況を確認



えひめ地域鳥獣管理  
専門員による現地指導



## ～農業・農村の整備～

### ○生産基盤の維持・強化

#### 【取組】

- ①基幹的農業水利施設の長寿命化対策
- ②通作条件の改善等につながる農道の整備
- ③担い手の確保・定着につながる樹園地整備
- ④点滴かんがいに対応した樹園地整備

#### 【成果】

- ①基幹的農業水利施設の長寿命化対策を実施：  
3地区（歌仙、頓田川沿岸、蒼社川）
- ②歌仙3期地区農道整備（1,300m）の推進：  
令和6年度完成に向けて工事が進捗
- ③④上浦地区再編復旧（6.8ha）の推進：  
井口工区1.8haのうち0.5haの工事が完成（一部営農再開）  
上浦地区盛工区4.4haのうち3.1haの工事に着手



再編復旧  
（上浦地区井口工区）

### ○安全・安心に暮らせる農村の整備

#### 【取組】

- ①県営事業による防災重点ため池の改修
- ②市町が行う防災重点ため池のハザードマップ作成への支援
- ③愛媛県ため池保全サポートセンターによるため池点検の実施

#### 【成果】

- ①防災重点ため池の改修：5地区・8池、うち3池の改修が完了
- ②防災重点ため池のハザードマップ作成：182池（今治市）  
管内の廃止予定を除く防災重点ため池510池（今治市500池、  
上島町10池）についてハザードマップが全て完成
- ③ため池の劣化状況等を確認：50池（今治市48池、上島町2池）



ため池の改修  
（山之内地区山田池）

### ○農業・農村の多面的機能の維持発揮活動の支援

#### 【取組】

- ①地域の共同活動を支援するための多面的機能支払交付金を交付
- ②中山間地域における農業生産活動の継続を支援するための中山間地域等直接支払交付金を交付

#### 【成果】

- ①地域協働による水路の泥上げや農道、水路、ため池堤体の草刈りなどの活動を実施：26組織（今治市25組織、上島町1組織）
- ②中山間地域における農業生産活動を継続：30組織（今治市）



共同活動  
（水路の泥上げ）

～地域の特性と時代の変化に柔軟に対応し畜産基盤の継承を図ります～

○次世代の担い手への経営継承支援

【取組】

- ・労働負担の軽減や省力化に資する機械等の導入を希望する農家に補助事業や資金の情報提供と設備導入の支援

【成果】

- ・地域の畜産クラスター協議会と連携し
  - ①畜産新技術等導入支援事業により、  
新素材・新薬を試験的に導入：2農場
  - ②飼料コスト低減化支援事業により、  
自給飼料の生産拡大のための取組実施：4農場  
飼料コスト低減のための機械等の導入：3農場



デジタル豚衡機



ワンタッチBOX

○地域畜産ブランドの販売力強化

【取組】

- ・県開発ブランドの愛媛あかね和牛の生産体制強化のための衛生管理技術指導

【成果】

- ・定期的な衛生検査により農場内の浸潤状況を把握：6農場
- ・検査結果に基づき、感染予防対策を指導：6農場
- ・安全な畜産物の生産・供給に向け、対象疾病の防除による生産性の向上：6農場



愛媛あかね和牛

○家畜伝染病発生予防のための技術指導等

【取組】

- ①消毒や野生鳥獣の侵入防止等の飼養衛生管理の技術指導
- ②家畜伝染病のまん延防止体制の推進

【成果】

- ①・県内での家畜伝染病の発生を含め国内外の家畜伝染病の発生状況の情報提供と注意喚起を実施
  - ・立入検査により野生動物の侵入防止対策や消毒等の飼養衛生管理の徹底を図るための衛生指導を実施：32農場
  - ・全国的なHPAI発生状況を鑑み、家畜伝染病予防法に基づく消毒命令期間中（約4カ月）に3度の消石灰配布、ため池堤体等の消毒を実施
- ②・家畜伝染病予防法に基づき、養豚農家で予防的ワクチン接種を実施：3農場
  - ・愛媛県豚熱感染拡大防止対策協議会と連携し、管内島嶼部において野生イノシシへの経口ワクチンを散布：11地点



ため池消毒



ワクチン散布